

【専門分野】

サイコドラマの効果測定に関する研究、児童期・青年期の不適応と親子関係に関する研究

【主要担当科目】

（学部）質問紙調査法、サイコドラマ、心理学統計法

（大学院）臨床心理基礎実習、心理統計法特論、サイコドラマ特論

【研究テーマ】

サイコドラマの効果測定に関する研究、児童期・青年期の不適応と親子関係に関する研究。ゼミでは児童期・青年期の発達課題や適応パーソナリティの問題、親子関係・友人関係、非行、不登校、自傷行為、摂食障害、抑うつ、ストレスなど幅広く研究

【略歴】

京都大学理学部卒。臨床心理士。公認心理師。

東京保護観察所保護観察官を経て、大阪府立高校教員。大阪府派遣により兵庫教育大学大学院修了。数年後、国立オリンピック記念青少年総合センター主任研究官。不登校キャンプの研究や各種体験活動の効果測定の研究に従事。早稲田大学教育学研究科博士後期課程単位取得退学、翌年、博士（教育学）取得。帝京平成大学教員をへて本学へ。

【主要研究実績】

①発行または発表の年月

②著書・論文等の名称 ③単著・共著の別 ④発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称

⑤編者・著者名（共著の場合のみ記入） ⑥該当頁数

【論文】

2018年12月

公立中学校の相談学級における不登校生徒を対象にしたサイコドラマ実践 単独発表 心理劇 第23巻 第1号 51-60.

【講演・発表】

2014年9月

主役へのウォーミングアップ尺度の開発（4）—主役準備性を目的変数とする重回帰分析による検討— 単独発表 日本心理学会第78回発表論文集, 300頁

2014年9月

大学生による葬儀体験の構造（1）—葬儀体験尺度作成を通じて— 共同発表 日本心理学会第78回発表論文集 川端康尋・谷井淳一 162頁

2014年9月

感情表出プロセスの性差—ジェンダーステレオタイプ意識との関連— 共同発表 日本心理学会第78回発表論文集 戸倉博子・谷井淳一 1259頁

2016年7月

Influences of teacher and social support regarding the sense of burden, anxiety, and positive feelings among mothers of kindergarten children, ICP2016(31th International Congress of Psychology), Kumagai, Azusa &

2016年7月

Warming-up Scale for Protagonist in Psychodrama, ICP2016(31th International Congress of Psychology), Tanii, Junichi. p.237

2016年7月

Relation between social interest and relational aggression, ICP(31th International Congress of Psychology), Ymaguchi, Tasuku & Tani, Junichi. p.309

2016年11月

公立中学校の特別支援学級におけるサイコドラマ実践(1) 単独発表 日本心理劇学会第22回大会発表論文集 38-39頁

2017年9月

心理学観を測定する尺度作成の試み 共同発表(小田友理恵・谷井淳一・北村英哉) 日本パーソナリティ学会第26回大会発表論文集

2017年9月

心理学観を問うーTOSとIODによる心理学者と臨床家の比較ー 共同発表(小田友理恵・谷井淳一・北村英哉) 日本心理学会第81回大会発表論文集

2017年9月

大学生の対人的嫌悪感情に関する尺度ー相手が同性または異性である場合の違いー 共同発表(谷井淳一・坂寄景子) 日本カウンセリング学会第50回大会発表論文集 102頁

2018年9月

大学生の対人嫌悪感情とその対処行動(1) 共同発表(谷井淳一・坂寄景子) 日本心理学会第82回大会発表論文集

2018年9月

妬み感情と自己効力感, 孤独感の関係について 共同発表(星野諒太・谷井淳一) 日本心理学会第82回大会発表論文集

2018年9月

幼稚園の母親の育児の負担感・不安感・肯定感に対する保育者のサポートやソーシャルサポートの影響 共同発表(熊谷梓・谷井淳一) 日本心理学会第82回大会発表論文集

2018年12月

公立中学校の特別支援学級におけるサイコドラマ実践(1) 単独発表 日本心理劇学会第22回大会発表論文集 38-39頁

【学会等および社会における主な活動】

日本心理劇学会理事(編集委員会委員)

[趣味・関心事]

エアロビクス・競技ダンス